

## 窓の窓

(敬称略)

### 結婚

藤岡 一樹 ♥ 中田佳奈苗 昭 和

### おくやみ

片桐 直 (94)	1/5	更生の1
櫛引 一良 (81)	1/7	新友進
横倉 喜一 (90)	1/14	新公進
箕浦タケ子 (92)	1/19	新公進
千葉 久信 (89)	1/21	新公進
春木 節子 (79)	1/22	新公進

## 善意のこころ

(敬称略)

家族が生前お世話になったお礼に

- 小野 昭 (あけぼの) 社会福祉協議会に10万円
- 若原 恵子 (新生区) 農業振興用として町に10万円
- 相馬 邦章 (中和) 社会福祉協議会に30万円

町や町の施設に

- 匿名の方 社会福祉協議会に30万円
- 坂野 昇 (春光) 社会福祉協議会に2万円

### ～有料広告を募集しています～

あなたのお店のコマースルをしてみませんか？  
このスペース (45cm × 88cm・2枠) を広告用の枠として開放していますので、ぜひご利用ください。  
詳しくは町ホームページ、または広報広聴係 (64-0521) にご相談ください。  
掲載料は1枠1回2500円です。  
※申し込みが2件を超える場合は、抽選となります。  
申請書の提出等ありますので、ご相談はお早めに！

### 特別養護老人ホームひろね職員募集

- 正職員：15.7万～ 賞与4.4ヵ月
  - 準職員：14.7万～ 賞与0.9ヵ月
- 社会保険完備。住宅、夜勤、燃料、誕生日等の手当別途有。  
見学希望、詳細などお気軽にお問い合わせください。  
地域密着型特別養護老人ホーム ひろね  
新得町西2条南5丁目5-1 電話：67-7220



### ★注目の一冊



## 図書館だより

詳しい情報などは町ホームページの図書館コーナーをご覧ください。

「稚心を去る」 栗山 英樹

少ない予算で、トレードやFA流出：それなのに毎年のようにスターを生み、勝利を勝ち取る北海道日本ハムファイターズ。今やもともと「若い選手が行きたいチーム」になったといえる。なぜできるのか。

就任8年目、12球団でもっとも長く指揮を執る栗山英樹の存在が欠かせない。栗山英樹は野球をもっとも愛する、そして選手を愛する稀有な監督であり野球人である。ファイターズには哲学があり、栗山英樹にも哲学がある。その融合こそが大谷翔平、清宮幸太郎、吉田輝星を引き寄せ、魅力あるチームを実現するのである。では、その哲学とは何か？

シーズン中、取り続けたノート。書き込まれた葛藤、学び、悔しさ、喜び。栗山英樹という希代のリーダー哲学、ファイターズファン垂涎の秘話、組織を強く作るヒントが満載。



- ### 新着図書
- 一般書
    - ・オウム死刑囚魂の遍歴 (門田隆将)
    - ・ほっかいどう先人探訪 (読売新聞北海道支社)
    - ・はじめて学ぶしG B T (石田仁)
    - ・昆虫は美味い！ (内山昭二)
    - ・おいしい珈琲を自宅で入れる本 (富田佐奈栄)
    - ・図解誰でもできる石積み入門 (真田純子)
    - ・木下サーカス四代記 (山岡淳一郎)
    - ・わが夫 (つま) 啄木 (鳥越碧)
  - 児童書
    - ・絵本作家のブルース (長谷川義史)
    - ・幽霊解放区 (赤川次郎)
    - ・帰去来 (大沢在昌)
    - ・神さまのお恵み (佐藤愛子)
    - ・新宿の猫 (ドリアン助川)
    - ・つくもがみ笑います (畠中恵)
    - ・帯広 昭和ノスタルジー (くらんとマガジン社)
    - ・つらつら (細島雅代)
    - ・義経千本桜 (越水利江子)
    - ・ゆきのよるに (いもとようこ)
    - ・さくらもちのさくらこさん (岡田よしとか)
    - ・まめまき できるかな (すとうあさえ)



- ・まめまき できるかな (すとうあさえ)



●地域おこし協力隊を志望したきっかけは？  
小学生のときに、知里幸恵さんの『銀のしずく降る降るまわらじ』を学び、アイヌと北海道に興味を持ちました。地域おこし協力隊に応募したのは、食と環境にかかわる仕事をしたいという自分の経験が活かせるのではないかという思いからです。

## 自然の恵みを活かし 地域に新しい風を 吹かせたい

鈴木 千鶴さん

## CLOSE UP! クローズアップ!



●新得町の印象は？  
随分前の話ですが、馬も好きなので、馬の牧場で働けないかと下見と観光を兼ねて旅行をしていいたときにドライブイン夫婦(当時)に宿泊しました。ご主人に相談するとトマムの牧場まで連れて行って

てくださり、そのときは新得には立ち寄っただけだったのですが、人が親切で温かいなと思いました。  
先日、トムラウシ町内会の新年会に参加させていただいた際に、子どもから大人までみんなが一緒に遊んで遊んで、それぞれが得意なことや助け合っているところを垣間見れて、自分も何かお役に立てればと思いました。

●働いてみての感想は？  
地域でたくさんの方の良師に巡り会えたこと、山から陽が昇り山へ陽が沈み、風の音を聞き、鳥や鹿の鳴き声とともに暮らす生活が贅沢だなと感じています。

●仕事の内容、これから取り組みたいことは？  
新得地ワイン研究会のご指導のもと活動しています。今は畑仕事、越冬のための作業をしているほか、ワイン造りのための勉強をしています。小果樹の栽培のための剪定作業をしたり、これからは加工品の試作も行っていく予定です。機械を使わずに自然の力を利用したものが作れないかなと考えています。  
トムラウシ発の新しいものを皆さんにお届けしたいと思っています。

すずき ちづるさん  
昭和53年12月生まれ (40歳)  
千葉県柏市出身  
北里大学獣医学部卒業。  
食品関係の企業に勤務し商品開発、品質管理などを担当したほか、東京やカナダでの野菜料理人、環境学習指導員、博物館の学芸員など幅広く食と環境に携わる。  
平成30年10月 地域おこし協力隊(トムラウシ地区振興・特産品開発推進員)に就任。

●これからの抱負・目標を聞かせてください。  
協力隊として何か新しい形になるものを作りたいということ、この素晴らしいトムラウシの地に人が集まるような仕掛けを考えていきたいです。  
私生活では、山の小川が流れるそばでいつか家を建てて住みたいという夢を叶えるため、地域の皆さんから色々なことを学びたいと思っています。